

## ■ 札幌ふるさとの樹木 ■

### その4：ドロヤナギ（ドロノキ）・ヤナギ科

雌雄異株。高さ20m～30mになる。若木の樹皮は緑灰色でなめらか。老木になると暗褐色となり、縦に裂け目ができる。枝は太く、短枝と長枝がある。

葉は互生、広卵形で長さ6～15cm、幅3～7cm。表は濃緑色、裏は緑白色である。葉の基部は心臟形で、1～4cmの葉柄に細毛がある。

花は尾状花序で葉が開く前に咲く。雄花は長さ3～10cmあり、赤紫色で多数の雄しべをつける。雌花は3～5cm、花後に伸びて卵形球形の白毛のある果実をつける。

(提供：北海道林業技術士会会長・西川静二氏)



枝は太く、短枝と長枝がある(2013.08.17)。



若木の樹皮は緑灰色でなめらか。老木になると暗褐色となり、縦に裂け目ができる(2013.08.17)。



雄花



雌花

葉の表



葉の裏

